

北海道教育委員会「S-TEAM 教育推進事業」
令和5年度（2023年度）授業改善セミナー

道北・保健体育 実施報告



令和5年11月30日（木）、留萌高校を会場に「主体的・対話的で深い学び」の視点を取り入れた授業の在り方について・ICT機器を活用した授業について」をテーマとし保健体育の授業改善セミナーを開催しました。道北ブロックの各管内から11名の参加がありました。

本講座の実施内容等を紹介しますので、授業改善の参考として御活用いただければと思います。

実施状況

【実践発表(科目「体育」)】北海道留萌高等学校 丸山 真望 教諭

科目「体育」の単元「ダンス（創作ダンス及び現代的なリズムのダンス）」において、「ICT機器の効果的な活用」と「主体的・対話的で深い学び」をねらいとして、研究授業を行いました。

授業では、生徒が授業者の用意した動画を見ながら準備運動ができるよう工夫していました。その後、生徒達は各班に分かれ、それぞれで考えた即興的なダンスをICT機器を活用して記録し、自己分析を行うとともに、分析した内容を、仲間との話し合いなど協働的な学習を通して、互いの考えを深め、表現方法を改善するなど学びを深めていきました。この授業で、自らダンスを創作し、表現することを楽しむとともに、ICT機器の効果的な活用による主体的で対話的な学びの姿を見ることができました。



【実践発表(科目「保健」)】

北海道美深高等学校 稲葉 信 教諭

自校の生徒の実態に合わせた「ICT機器を活用した授業」、「主体的・対話的で深い学び」の視点を取り入れた授業実践について、科目「保健」における取組を発表しました。

発表では、生徒が写真や動画を活用した授業により、興味・関心



を高めながら授業に取り組み、視覚から入ってくる情報を元に、思考しながら問題点を発見し、その解決策を考えるなど思考を深める姿を見ることができました。また、アプリを活用し楽しみながら知識の定着を図る授業の工夫により、生徒達の学びを深める取組は、参加者の今後の授業改善の一助となる発表でした。



【研究協議】「保健体育科の授業におけるICT機器の積極的な活用について」

研究授業及び授業実践発表後に、「保健体育科の授業におけるICT機器の積極的な活用について」を柱に研究協議を行いました。

研究協議では、ICT機器を活用した体育授業の動画をいくつか視聴し、授業においてどの場面で活用することが生徒にとって効果的であるかについて個人思考により検討するとともに、2つのグループに分かれて、グループ協議を行いました。参加者からは、具体的な授業実践についての情報共有や他校の実践についての質疑など積極的な発信があり、参加者の授業改善につながる具体的な協議となりました。全体共有の場では、授業を充実させるための様々な意見を共有することができました。



セミナー参加者の声

【参加者の声】

- ICTを活用した効果的な学習に関して、概要が理解できたので、今後積極的に活用できるよう取り組みたい。
- 他校のICT機器の活用例を見ることで、自身の学びの良い機会となり、非常に参考になった。
- 新しい視点や方法で授業実践に取り組むアイデアを得ることができた。自身の授業において生徒の実態を踏まえ活用を模索していきます。
- 動画を活用して授業実践することで、生徒達の学びが深まっていると感じた。
- 本校は体育科教員が1名であるため、本日のような機会が非常に有意義であった。本日の体育教員のつながりを今後も活用し、研鑽を積んでいきたい。
- 他校の先生方との交流を通し、様々な悩みや各校での課題を共有することができた。自校の課題の解決や授業改善のアイデアをいただきました。

【アンケートの結果（一部）】

- 1 ICTを活用した効果的な学習指導に関する理解は深まりましたか。
a おおいに深まった 25% b 深まった 75% c あまり深まらなかった 0%
- 2 今回のセミナーで紹介した教材や指導法、研究授業、研究協議の内容等は、あなたの授業に大いに活用できますか。
a おおいに活用できる 25% b 活用できる 75% c あまり活用できない 0%
- 3 今回の実践発表・研究協議において、教科における「探究的な学び」又は「主体的・対話的で深い学びの充実」に関する理解は深まりましたか。
a おおいに深まった 35% b 深まった 65% c あまり深まらなかった 0%